校内研修計画

甲州市立勝沼中学校

**１　研究主題**　　確かな学力を育む学習指導の在り方

～個別最適と協働的な学びを実現させるICTの効果的な活用を目指して～

**２ 主題設定の理由（学校課題含む）**

勝沼中学校の学校経営における基本方針は、甲州市で進める「確かな学力育成プロジェクト」の３つの視点である「授業づくり、授業改善」「学級づくり、集団づくり」「保護者、地域住民等との連携」の中にすべて含まれている。ゆえに、甲州市のプロジェクトをもとに、生徒に確かな学力を保証する集団づくり、授業づくりを推進し、併せて豊かな心を育む取り組みを実践することで、基本方針の実現へと向かっていくと考えられる。確かな学力の基盤となる主体的・対話的で深い学びの実現には、質の高い授業を教師が行うことで学力を育てることと、学ぶ側の生徒の学級力を育てることが不可欠である。しかし、生徒を取り巻く社会も大きく様変わりし、貧困をはじめとするさまざまな困難を抱えている家庭や生徒も多く、特別な支援を必要とする生徒も多く存在する。QU分析等を活用し、ともに授業を創る（学ぶ）側の生徒の土壌づくりに生かしていくことが大切である。これは基礎ができていないところに、いくら家を建てようとしても崩れてしまうためである。校歌の歌詞の中にある「学舎は常に愉しく」という言葉は、勝沼中のキーワードであり、生徒が学ぶことが愉しくなるように教師集団がひとつのチームとなって授業づくりと学級づくりに主体的に挑戦し励んでいくことを表している。

さらに、新学習指導要領において示された資質・能力の育成を確実にすすめることが重要である。「深い学びの実現に向けたICT活用推進事業」の2年間で得た、ICTを活用するメリットを生かし、リアルとデジタルの最適な組み合わせを模索していきたい。日常的な職員間での学び合い、講師を招聘してのICT活用に関する校内研修の実施等の取り組みを行い、教師のICT活用の向上・指導力向上を図っていきたい。

「個別最適な学び」では、子ども一人ひとりの特性や学習進度、学習達成度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等に柔軟な提供・設定を行う「指導の個別化」と、一人ひとりに応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子どもたちが主体的に学習を最適化する「学習の個性化」が必要である。そこで本校の取組として「自主学習」や「ユニバーサルデザイン」の視点を持った授業・環境デザイン、「学舎タイム」を活用した学力のボトムアップを実施していきたい。

「協働的な学び」では、探究的な学習や体験活動などを通じ、子ども同士や、教師と子ども、あるいは他校や地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることができるような授業や交流を様々な場面で意識的に仕組むことで必要な資質・能力を育成していきたい。

以上の通り、教科と特別な教科「道徳」の２つの領域でICTの効果的な活用を教職員で探究したい。そして、日本の学校教育が大事にしてきた同じ空間で時間と学びを共にする「オンサイト」と、ICTを活用した遠隔地の他校や地域との交流を取り入れた「オンライン」のハイブリッド型の新しい教育を創り出す教職員集団を目指していきたい。

**３　研究の具体的内容と方法**

（１）授業づくり、授業改善に関わって

①ICTの効果的な活用方法の探求

②ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくり（掲示物やチョークの色等）

③単元テストや「朝学習」（定期テスト前１週間）、「学舎タイム」の設定

④CＲＴ検査や全国学力学習状況調査、県学力把握調査の分析及び指導の改善

⑤授業の構造化（めあて（学習課題）、まとめ、見通し、振り返り等の提示）

⑥読書活動の充実（朝読書の実施）

⑦甲州市「ティーチャーズノート」の活用

（２）学級づくり、集団づくりに関わって

①授業規律の確立（時を守り、場を清め、礼をただす）

②「hyper－QU」の実施とK-13法での分析及び活用

③甲州市「ティーチャーズノート」の活用

④平和教育の実施（わだつみ平和文庫講演会、授業実践）

⑤キャリアパスポートづくり

（３）家庭学習の習慣化に関わって

①自主学習の取り組み

②基礎・基本の定着を目指す「学舎タイム」の実施

③甲州市「学習の手引き」「家庭教育・子育て」Ｑ＆Ａの活用

【研究授業の実施】

生徒の資質・能力の育成に向けて、ICTを効果的に使用できる場面を絞り出し、実際に教員の参観を通して成果や課題を集積する。そこから研究副題である「個別最適（な学び）」と「協働的な学び」の実現につなげていきたい。その手立てとして、上記研究の具体的内容と方法（１）、（２）をふまえ、研究授業を行うこととする。

※一人一実践でも同様にICTを活用した授業を試み、できるだけ客観的なデータの基づく成果や課題を集積する。

